

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこにこ Megumi Club plus		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼稚園併設のため、園での集団生活の様子や困り事を日常的に把握でき、先生方との連携が密に図れる。	幼稚園の年間カリキュラムや行事に沿い、見直しを持った支援計画を立てている。	幼稚園との情報共有をさらに強化し、支援の一貫性を高める。
2	1クラス3～4名の少人数体制により、1対1での個別支援が十分に行える。	集団では難しい課題に対し、1対1の時間を活用して発達段階に応じた支援を実施している。	個別支援計画の定期的な見直しを行い、目標の明確化を図る。
3	園生活の具体的な困り事を把握し、実際の生活場面につなげた支援ができる。	・微細運動と粗大運動のバランスを意識し、集団参加へつながる支援内容を工夫している。 ・日々の振り返りを行い、状況に応じて支援内容を調整している。	家庭との連携を強化し、園・事業所・家庭が共通理解のもと支援できる体制を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数体制のため、計画的な内部研修や法人内事業所との連携機会が十分とは言えない。	・法人内事業所との連携体制が十分に体系化されていない。 ・支援準備や記録業務に時間を要し、研修や企画に充てる時間が限られている。	・年間研修計画を策定し、内部研修や事例検討を計画的に実施する。 ・法人内事業所との情報共有や合同研修を実施し、専門性向上を図る。
2	保護者向けのペアレントトレーニングや保護者同士の交流の場を増やしていきたい	10:00～16:00までの支援があり、継続的な保護者支援の時間確保が難しい。	保護者向け三二勉強会や交流会の定期化を検討する。
3	保護者の方と直接お会いできる機会が少ない	通級型となるので利用時間も限られており、親御さんと送迎時に顔を合わせることがない。	HUGアプリで支援記録を伝達する際に、出来るだけ細かくお子様の様子を伝えると共に、親御様とのやり取りも細やかに行っていく。